



発達が気になる子どもの おうちでの過ごし方

発達で楽しく生活するためのヒント

発達の気になる点や、おうちでの過ごし方について相談できる場所があります。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

おうちでの 親子の上手な過ごし方

発達が気になる我が子と過ごす中で、「こんな時どうしたらいいのかな？」と悩むことはありませんか。

親子間のコミュニケーションに悩んだ時は、相談機関の専門家と一緒に考えていくことが大切です。今回は、「おうちでの過ごし方」と「保護者の心構えや接し方」のポイントについて、帯広市発達支援センターに指定されている帯広児童養育センターの吉田所長に話を伺いました。

お子さんが好きな遊びをやめられずにかんしゃくを起こす、注意しても同じことを繰り返すなど、

子育ての専門家に 聞いてみました！

ひとりで悩まず、
私たちに、相談して
ください！



帯広児童養育センター
所長 吉田有貴子さん

Q1 子どもとの関わり方で家族に 大切にしてほしいことは何ですか？

A1 まずは、家族が頑張りすぎないこと。子どもの発達を促すために何をしてあげるとよいか分からない時には、お父さんやお母さんが好きなこと、自分たちが楽しいと思うことに子どもを巻き込んでみることをお勧めします。料理が好きなお母さんならクッキーづくり、お絵描きが好きなら塗り絵などを試してみてください。何も思い浮かばないという人は、自分が子どもの時に遊んだことを思い出してみると、アイデアが出てくるかもしれませんよ。

Q2 冬はどんな遊び方がありますか？

A2 暖かい服装で外を一緒に散歩してみましょう。ふわふわな雪に触る、つるつる路面を歩くなど、子どもの身体づくりにいい影響を与えます。家の周りを一周歩くだけ、玄関先でバケツに雪を入れるだけなど、家族が負担にならないことから始めましょう。子どもは一度の経験では楽しめないことが多いです。「遊びに連れて行ったのに楽しんでくれなかった」とがっかりせず、繰り返し経験させることで、少しずつ楽しめるようになってくれます。

Q3 日常の中でお勧めの関わり方はありますか？

A3 おうちの中ではお手伝いをお願いしてみましょう。テーブルをぬれタオルで拭くなど、簡単なことから始め、上手にできたら目いっぱい褒めて、幸せな気持ちにしてあげてください。また、便利な道具も活用してみましょう。キッチンタイマーで時間を区切ることで、活動の切り替えがスムーズになったり、これから出掛ける場所の写真を見せることで、見通しがついて行動を起こしやすくなる場合もあります。

発達の相談場所

お子さんの気になる点を一緒に整理したり、今後の関わりについて一緒に考えてみませんか。電話相談や来所相談ができるので、まずは左記へ問い合わせください。

〇子ども発達相談室

電話 25・9700
場所 保健福祉センター
受付 平日8時45分～17時30分
(東8南13)

〇帯広市発達支援センター

電話 36・2085
場所 帯広児童養育センター
(西22南3、つばさ保育所内)
受付 平日8時30分～17時30分



非行、ネット被害、薬物 から子どもたちを守る

街頭巡回指導の声掛け状況など

少年非行の未然防止のほか、ネットトラブルや薬物の被害に巻き込まれないよう、街頭巡回や啓発活動を行っています。

問い合わせ 学校地域連携課（市庁舎8階、☎65・4161）

SNS利用に伴うトラブル コロナ禍の利用時間増加も一因

情報化社会の進展により、スマートフォンなどの情報通信機器が普及し、青少年のインターネット利用が進んでいます（表）。それに伴い、有害な情報に接する機会やSNSに起因するいじめ被害が全国的に増加傾向にあります。

親子でルールづくりを

子どもが安全にSNSを利用するには、保護者が子どもの発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理する必要があります。利用内容や利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能を積極的に活用していきましょう。

※ペアレンタルコントロール機能
子どもが利用するスマートフォンなどを保護者が管理する機能で、ウェブサイトの閲覧制限やアプリの利用制限を設定できます。

青少年の行動を見守る 街頭巡回指導の現状

青少年センターでは、不良行為や問題行動の早期発見により、非行の未然防止を図るため、街頭巡回指導を実施しています。



街頭巡回指導の様子

表 令和2年度青少年のインターネット利用状況

	小学生	中学生	高校生	平均
利用率	90.5%	97.4%	98.9%	95.8%
利用時間/日	146分	200分	267分	205分
利用内容	動画視聴が最も多く、ゲーム、コミュニケーション、音楽視聴、情報検索の順に続く。平成26年度調査以降、動画視聴が増加傾向。			

出展：青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府）

未成年者の大麻乱用が問題に！ 人体や社会へ悪影響と危険性が！

令和2年、帯広警察署管内において、大麻取締法違反で検挙された13人のうち、10～20代が8人と半数以上を占めています。

若者が多い背景としては、違法性・有害性に対する意識の低さ、SNSを通じた売買による入手の容易さなどがあるとされています。また、使用する動機は、興味本位やその場の雰囲気、仲間外れにされたくないなどがあります。

大麻は、覚醒剤に手を出すことにつながりかねない、危険な薬物です。絶対に手を出してはいけません。

「子ども110番の家」に登録してみませんか

子どもが登下校の際、身に危険が迫ったときなどに駆け込む場所が「子ども110番の家」です。逃げ込んだ子どもを保護し、110番通報や、保護者連絡するなどして、犯罪被害を未然に防止します。地域の子もたちが、安心して登下校できるよう、皆さんの協力をお願いします。

